

日時：令和6年6月3日（月）

午前10時～11時50分

会場：掛川工業高校 小会議室

1 開会

- ・校長挨拶

2 授業参観

3 学校からの連絡・報告事項

- ・委員長の任命
- ・「学校運営協議会の設置等に関する要綱」について
- ・「学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）の導入の手引き」について
- ・「令和5年度 学校経営報告書（自己評価）」について
- ・「令和6年度 学校経営計画」について
- ・「学校の近況報告等」について
- ・「令和5年度 国家資格・検定試験合格状況」について

4 協議・意見等

- A 委員：生徒募集をする中で、奇麗な校舎は魅力的だが予算的な措置が必要であるため、直ちに対応できないが、学校の魅力化を皆で考えていく必要がある。
- グラウンドが広く、スポーツで名をあげることも重要である。
- 学校の魅力化を実践するために、チャレンジングな独自性のある取組を検討していく必要があるのではないか。
- B 委員：スクールポリシーの設定など、高等学校は大学の縮小版になっている。
- 教員を志望する者が減少している。大学入学時には、教員志望の学生も教員の労働環境を知ると厳しいと感じ、諦めてしまう学生がいる。働き方改革も含め、部活動指導などは地域移行し、専門性のある指導者に任せることも必要である。
- I C T機器を活用した授業が散見されたが、生徒の座席によって視認性の違いがあると感じた。また、40人在籍しているクラスは室内がやや狭いと感じた。
- C 委員：昨年から継続して設定されている目標は、昨年以上の成果を出せるようにお願いしたい。
- 時間外勤務の削減については、民間企業では半強制的に取り組んでいる。
- 広報については、予算をかけて専門業者に委託する方法もあるが、広報が

機能している学校や企業のホームページなどを参考にする方法もある。
いずれの点においても、民間企業のエッセンスを情報提供できるので相談
して欲しい。

D 委員：校舎が古いのは仕方ないが、昭和レトロブームを売りにすることも有効で
はないか。

「衣替えなし」「髪型自由」「スマホ自由」「チャイムなし」など、生徒の主
体性に委ねた学校がある。それによるトラブルは無く、生徒は先生方に信
頼されていると感じており、生徒自身の自主性が育まれており、感じが良
い。中学生にとって進学したい高校となっている。

広報について、先生方が忙しいようでしたらPTAに広報部門を作り、投
稿などを依頼する方法など、保護者を巻き込んだ広報は考えられないか。

5 閉会・所連絡

(1) 議事録について

後日、ホームページに掲載する。

(2) 今後の予定

第2回 令和6年11月2日（土）